



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 椿本興業株式会社
 コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 春日部 博
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4795-8806

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,230	△26.8	504	△57.1	656	△51.2	443	△48.3
2020年3月期第1四半期	26,285	24.8	1,176	88.4	1,345	65.0	856	57.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 715百万円 (104.1%) 2020年3月期第1四半期 350百万円 (△33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	70.79	—
2020年3月期第1四半期	136.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	58,214	24,814	42.3
2020年3月期	65,969	24,738	37.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 24,610百万円 2020年3月期 24,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	100.00	130.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	90.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※1 2020年3月期の期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	△24.8	1,300	△57.8	1,450	△55.9	970	△55.3	154.93
通期	84,500	△19.5	3,000	△43.3	3,300	△41.4	2,170	△42.0	346.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,497,969 株	2020年3月期	6,497,969 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	237,390 株	2020年3月期	237,330 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,260,612 株	2020年3月期1Q	6,260,898 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付文書3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
・ 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が全国に及んだことから深刻な打撃を受け、経験したことが無いほどの急激な悪化をいたしました。世界経済全体においても、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大した結果、各国政府による緊急事態宣言による外出、移動制限に伴う経済活動の抑制など、景気の先行きは全く見通せない状況であります。

このような状況下にあつて、当企業グループでは、客先・仕入先、当企業グループの役職員やその家族をはじめとする、全ての皆さまの安全・健康を第一に考え、感染拡大防止に努めました。このため、販売活動においては、感染拡大防止のために営業部門の直接の企業訪問を制限・自粛することにしたこと等のため、受注高・売上高が前年同期に比べ大きく減少いたしました。これに加えて、前年同期に計上した大口の液晶画面関連製造装置の売上高が当期には若干額のみとなったため、設備装置関連の売上高が前年同期に比べ大きく減少いたしました。一方、利益面では、徹底した経費削減を実施いたしました。売上総利益減少分を補いきれず、前年同期に比べ大きく減少することとなりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、

売上高	192億30百万円	(前年同期比	73.2%)
営業利益	5億4百万円	(前年同期比	42.9%)
経常利益	6億56百万円	(前年同期比	48.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4億43百万円	(前年同期比	51.7%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約36%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動が制限されたため、設備装置関連の売上高が減少いたしました。国内子会社を含めた動伝部品販売は堅調に推移したため、その売上高は、69億53百万円（前年同期比89.6%）となりました。

西日本本部

東海・北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約46%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動が制限されたため、設備装置関連の売上高減少に加え、前年同期に計上した大口の液晶画面関連製造装置の売上高が当期には若干額のみとなったため、設備装置関連の売上高が前年同期に比べ大きく減少いたしました。一方、重工業向けを除く動伝部品販売は堅調に推移いたしました。以上により、その売上高は、87億87百万円（前年同期比66.0%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約18%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、海外子会社については、新型コロナウイルス感染症拡大による各国の活動制限が厳しいものとなり、営業活動が大きく制限されたため、売上高は前年同期に比べ大きく減少いたしました。また、マテリアルビジネスについては、介護・衛生関連商品にかかる不織布等の売上は堅調に推移いたしました。海外展開している紅茶包装機等は、新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限の影響を大きく受けました。これらを合計した売上高は、34億89百万円（前年同期比67.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は582億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億55百万円減少いたしました。流動資産は79億50百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が63億61百万円、受取手形及び売掛金が46億81百万円減少した一方で、電子記録債権が25億37百万円、仕掛品が4億89百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1億94百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより3億99百万円増加した一方で、繰延税金資産が1億57百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は333億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億31百万円減少いたしました。これは主に流動負債が78億34百万円減少したことによるものであります。その主な要因は、支払手形及び買掛金が26億62百万円、電子記録債務が46億18百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は248億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4億43百万円計上したこと、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより、その他有価証券評価差額金が3億28百万円増加した一方で、配当金の支払い6億26百万円を実施したこと、為替換算調整勘定が48百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が引き続き大きく影響し、経済活動も徐々に再開されるものの、第2波の発生も懸念され、依然として低調な水準にとどまるものと思われまます。

このため、連結業績の予想作成につきましては、下記の状況を前提にしております。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、少なくとも前期末時点に見積もった状況が当連結会計年度末までは続くと考えております。従って、当第1四半期連結累計期間末現在においては、会計上の見積りに関し前期末時点から変更する必要はないと判断しております。
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大の経済全般への影響が、第2四半期連結累計期間末までは特に大きいものと判断しております。このため、今後の設備投資案件の中止・延期や据付工事の遅れ、自動車や産業機械の生産調整が続くための部品需要の減額などが背景になり、当企業グループの受注高・売上高に対しても、これらが大きく影響してくるものと判断しております。

先行きが全く見通せない状況下ではありますが、当第1四半期連結累計期間の実績や受注残高の納期推移などを総合的に判断した結果、下記の業績予想とさせていただきます。なお、今後の状況により、修正が必要となった場合には、速やかに修正開示させていただきます。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	84,500	3,000	3,300	2,170

(第2四半期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)
第2四半期(累計)	43,000	1,300	1,450	970

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,412	10,050
受取手形及び売掛金	27,436	22,755
電子記録債権	6,411	8,949
商品及び製品	2,599	2,560
仕掛品	620	1,110
その他	1,608	1,708
貸倒引当金	△168	△163
流動資産合計	54,921	46,971
固定資産		
有形固定資産	1,785	1,760
無形固定資産	121	115
投資その他の資産		
投資有価証券	7,070	7,470
長期未収入金	1,358	1,357
繰延税金資産	880	723
その他	1,343	1,325
貸倒引当金	△1,511	△1,510
投資その他の資産合計	9,141	9,366
固定資産合計	11,048	11,243
資産合計	65,969	58,214
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,352	11,690
電子記録債務	19,787	15,169
未払法人税等	852	90
前受金	3,077	3,340
役員賞与引当金	7	—
工事損失引当金	12	12
偶発損失引当金	208	208
その他	578	531
流動負債合計	38,877	31,042
固定負債		
退職給付に係る負債	1,901	1,904
長期未払金	213	211
繰延税金負債	—	2
その他	237	238
固定負債合計	2,353	2,356
負債合計	41,231	33,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	19,126	18,943
自己株式	△490	△490
株主資本合計	23,387	23,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,260	1,588
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	41	△6
退職給付に係る調整累計額	△181	△175
その他の包括利益累計額合計	1,117	1,405
非支配株主持分	233	204
純資産合計	24,738	24,814
負債純資産合計	65,969	58,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	26,285	19,230
売上原価	22,440	16,346
売上総利益	3,844	2,884
販売費及び一般管理費	2,668	2,379
営業利益	1,176	504
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	151	134
助成金収入	—	48
持分法による投資利益	7	—
その他	29	8
営業外収益合計	188	192
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	13	12
持分法による投資損失	—	13
為替差損	—	8
その他	6	5
営業外費用合計	20	39
経常利益	1,345	656
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	1,348	656
法人税、住民税及び事業税	442	175
法人税等調整額	28	34
法人税等合計	470	210
四半期純利益	877	446
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	856	443

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	877	446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△543	328
繰延ヘッジ損益	△5	2
為替換算調整勘定	16	△45
退職給付に係る調整額	6	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△22
その他の包括利益合計	△527	269
四半期包括利益	350	715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324	731
非支配株主に係る四半期包括利益	26	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	7,760	13,327	5,197	26,285	—	26,285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	114	261	398	△398	—
計	7,782	13,442	5,458	26,683	△398	26,285
セグメント利益	259	839	268	1,367	△191	1,176

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,367
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△188
四半期連結損益計算書の営業利益	1,176

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	6,953	8,787	3,489	19,230	—	19,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	103	87	210	△210	—
計	6,973	8,890	3,577	19,441	△210	19,230
セグメント利益	274	368	101	744	△239	504

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むF Aシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	744
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△243
四半期連結損益計算書の営業利益	504

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

・ 補足情報

受注、販売及び仕入の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	6,926	+1.8	15,607	+8.3
西日本本部	9,724	△16.4	20,728	△22.9
開発戦略本部	3,718	△22.1	4,624	△7.8
調整額	△138	—	△1,532	—
合計	20,231	△11.4	39,428	△11.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	6,973	△10.4
西日本本部	8,890	△33.9
開発戦略本部	3,577	△34.5
調整額	△210	—
合計	19,230	△26.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	6,137	△9.0
西日本本部	7,721	△33.8
開発戦略本部	3,149	△33.1
調整額	△210	—
合計	16,797	△26.1

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。